



—北アフリカ・東地中海地域ニュース—

アルジェリア：アイン・アマナースの施設襲撃事件（1）

中東調査会イスラーム過激派モニター班

2013年1月16日、アルジェリア南東部のイリジ県アイン・アマナースのBPの施設が襲撃され、アメリカ人、フランス人、イギリス人、日本人を含む外国国籍の者が拘束された。被害者の国籍・人数などについては確定情報がなく、最大で41名との数字が流布している。現時点（日本時間午前10時）では、犯行声明は発表されていない。犯行集団から報道機関に流出したとされる情報や発言があるだけである。今般の事件の実態や犯行集団の意図や要求事項については、犯行集団が正式な形で声明や映像を発表することを待たなくてはならない。

今般の事件はイスラーム的マグリブのアル=カーイダ（AQIM）がこれまでサハラ地域を中心に西洋人を誘拐してきた事件と規模・対象の面で根本的に異なっている。アルジェリアにおいては、1990年代のイスラーム過激派の反政府武装闘争の時代から、同国の石油施設や権益、関連する人員が直接の標的となる事件はほとんど発生しなかった。また、今般の事件のような大規模な襲撃も初めてである。従って、犯行集団の意図や今後の展開についても、従来のイスラーム過激派による襲撃・誘拐事件と異なる発想で臨む必要があるだろう。